

第3章 良好な景観の形成に関する方針

1. 景観形成の目標

高根沢町の景観は、広大な田園地帯、丘陵、河川、牧場などといった自然景観と、台新田展望台や元気あっぷむらなどから眺望できる八溝山地、日光連山、那須連山などの山並み景観、その中に点在する屋敷林に囲まれた農村集落景観、長屋門、宝積寺駅舎やちよっ蔵広場といった建造物の景観、情報の森とちぎ、光陽台・宝石台などの市街地景観が存在しています。

これらの良好な景観を形成及び保全していくために4つの目標を掲げます。

目標1 自然風景、点在する農村集落、田園を守り、後代の町民に継承する。

広大な田園、丘陵、河川、牧場など、高根沢町には豊かな自然がたくさん残っており、日常生活に潤いと豊かさを与えています。日光、那須連山などの山並みを背景とした平坦部では豊かな田園と屋敷林に囲まれた農村集落があり、丘陵地帯では山あいに沿った農村集落が点在しています。農村集落には、長屋門などもあります。

これらは、その土地の歴史、文化、風土、生活から生じる雰囲気、水の流れる音、香りなど、人間の五感を通して感じることができるものすべてが深く結びついて成立したものです。そして、これらの景観は目を閉じれば浮かんでくる原風景となっています。

このような景観は町民の心の大きな拠りどころにもなっていて、良好な景観形成に大きく寄与することから積極的に保全を図っていきます。



鷺ノ谷地区の谷津田



中郷地区の田園

目標2 美しい眺望を確保するとともに、活用する。

丘陵と平野で構成される地形の特性から、高根沢町には優れた眺望点が存在します。鬼怒川から見える日光連山、高原山及び那須連山、台新田展望台から見える田園風景、日光連山及び那須連山、元気あっぴむらから見える八溝山地、富士山などは、他市町に誇れる景観です。

こうした眺望は、人々に憩いと安らぎを与えてくれる優れた景観であるだけでなく観光資源でもあることから、積極的に確保し活用します。



台新田展望台からの眺望



元気あっぴむらからの眺望

目標3 落ち着いたきのある市街地を形成し、保全する。

高根沢町には、周辺環境に配慮した良好な環境をもつ市街地が存在します。中には、建築物などの位置、構造、意匠、緑化などの取決めを行っていたり、文化や生活から生じる雰囲気、音楽などから活気を感じたりする地区もあります。その一方で、アパートやマンションの乱立、中心市街地の商業店舗の閉鎖などにより景観が悪化している箇所も見られます。

そこで、市街地を魅力的な佇まいを有するものにするため、良好な景観形成及び保全を図っていきます。



情報の森とちぎ



良好な景観を有する住宅地の例

目標4 町民・事業者・町との協働によって、良好な景観を形成する。

高根沢町のすばらしい景観は町民や事業者はもちろんのこと、高根沢町を訪れる人々にとってもかけがえのない大切な共有財産です。

しかし、町民、事業者、町がそれぞれの責務を認識したうえでパートナーシップを持って行動しなければ良好な景観を形成することはできません。

地域の特性を再度認識し、町民や事業者がさまざまな形で景観形成に参加できる体制づくりを行い、個性豊かで潤いと安らぎのある景観を守り育てていくことが重要となります。

そこで、町民、事業者との協働により、良好な景観の形成を図っていきます。

2. 景観計画区域における景観形成の方針

景観形成の目標を踏まえて、景観計画区域における景観形成の方針を以下のとおり定めます。

(1)景観計画区域すべてに共通する景観形成の方針

- 田園や自然、屋敷林に囲まれた点在する農村集落、長屋門などの景観の保全・育成
- 八溝山地、日光連山、那須連山などの眺望景観の確保と視点場の形成
- 魅力ある市街地の景観形成
- 景観を創造する意識の啓発

(2)ゾーン別における景観形成の方針

①田園ゾーン

- 広大な田園や河川、牧場などの豊かな自然景観を保全する。
- 屋敷林に囲まれた点在する農村集落、長屋門、歴史的建造物などを保全する。
- 人々が代々営み、親しんできた生活文化を継承する。

②丘陵ゾーン

- 優れた緑地景観を確保するため、里山を保全する。
- 八溝山地、日光連山、那須連山などの眺めを確保する。

③鬼怒川左岸ゾーン

- 美しい河川景観、清流、田園を保全する。
- 日光、那須連山などの雄大で奥行きのある眺めを確保する。
- 町民と連携した清掃活動などを推進する。

④市街地ゾーン

- 地域特性を活かし、生活拠点としてふさわしい統一感と魅力ある市街地景観を形成する。
- 緑化を推奨し、統一感の取れた潤いのあるまちなみを形成する。